臺灣新報 第七千八百六十二號 昭和八年四月二十一日 日曜日 （第二種郵便物認可）

# 金の輸出再禁止を
## 米大統領から聲明
### 物價の引上げのため
### 劃期的金融政策に乘出した最初の階梯

【ワシントン十九日發聯合】米大統領は國內經濟情勢に鑑み商品價格の引上げを目的とする金輸出禁止を復活する旨本日聲明したが【ワシントン十九日發電通】ホワイトハウス當局はルーズベルト大統領が爲替平價切下げ問題に關する最終決定を發表するまで今後金の輸出を絶對に禁止するに決定した旨を確認した尙當局では右は金本位制離脫と同樣であると言つてゐる

【ワシントン十九日發聯合】米大統領は十九日午前九時より第二回の閣議を開き金輸出禁止を決行するに至つたのは主として物價の騰貴を防止の目的で積極的に大統領の所謂統制物價水準並びに統制經濟を確立すべき劃期的金融政策に乘出した最初の重大な階梯として各方面から驚嘆の眼を以つて見られてゐる

【ワシントン十九日發聯合】米大統領は十九日午前九時より

# けふも雨のため 陸軍機は飛來を中止

## 腕を撫して天候回復を待つ

【大刀洗二十日發電通】十八日來著雨のため十九日の出發を延期した洋上大飛行隊は十九日夕來頻りに關係各地に天候に關する照電を發し焦慮してゐたが內地は引續き二十日朝まで降雨を見最も自由ならざるより腕を撫し天候回復を待つてゐる

【屏東二十日發電】重輕爆擊機五機は二十日も沖繩附近の天候惡く中止となり二十一日飛來の電報あつた

# 輕爆機二機のみ 天候回復して出發

## 重爆二機はあす朝出發

【大刀洗二十日發電通至急報】臺灣大飛行の途雨に阻まれて焦慮してゐた陸軍機の一部爆撃機二機(三一六、三一〇、三一〇六號)は通過各地氣象回復の報を得たるにより今朝十時發編隊隊形を整へ一氣に臺灣屏東飛行場に向け出發した、尙重爆擊機二日午前五時發その後を追ふこととなつた

# 鮮人風の怪青年が 訊問をうけ毒藥をのむ

## 「參謀本部の土堤下に集れ」の 怪文書を持ち重大視さる

### 公爵邸は家宅捜索をうける

【東京二十日發電通】二月十日朝鮮慶尙南道昌原郡鎭東面の新宿(鮮人の一大部落)で「參謀本部の土堤下に集れ」の怪文書が發見され當局では興奮のあまり二十日朝慶尙南道警察部(行政區劃は道廳)から內務省衛生課(行政區劃は府縣)へ「置き捨てとうたゞ行に伝染病患者一人の發生につき取調べ中である」との報告があつたが內務省衛生課では「この報告は誤報に相違ない」と一笑に附してゐる

# 探偵小說好きの 青年が打つた芝居

## 家の金を使ひ果した爲

【東京二十日發電通】三宅坂附近で手配中の犯人文部省思想局に關係ある事件で取調べを進めた所この男は麻布市兵衛町七十七番地文吉三男石黒忠篤(三七)で最近家を出奔し去る十四日兄の金百圓を騙取家出し金を使ひ果たし兄への申譯のため且つ生來活動寫眞探偵小說の愛好者であるところから探偵一流と稱したものであるが實は全然虚構したものではない

# 帝都經費二百五十萬圓を 市民から寄附募集

## 東京市聯合防護團が

【東京二十日發電通】來る八月五日から十二日まで東京府、神奈川、埼玉、千葉、靜岡の一府四縣に行はれる日本最初の大規模の防空演習に參加する東京市聯合防護團では都市防護の完璧を期するため臨時費として二百五十萬圓を一般市民から寄附募集することとなつた、募集金額の總額は四十六萬六千三百十一圓、團員防護組織員として全市に四百の防護班の設置を設け非常時には約一萬五千人の活動を行ふ、なほ一萬八千九百九十四箇所に防護壕、百十二萬四千七百四箇所に防空壕(簡易、堅牢)を設置、百十二萬四千七百四箇所に防空壕(簡易、堅牢)を設置、高射砲、高射機關銃、照空燈、聽音機、偵察機を購入して軍部へ寄附するもので募集期間は本月より六月までである

# 妻子をすて 女給と同棲

## 妻の捜査願から判明

【東京二十日發電通】三宅坂附近で手配中の犯人文部省思想局に關係ある事件で取調べを進めた所この男は麻布市兵衛町七十七番地文吉三男石黒忠篤(三七)で最近家を出奔し去る十四日兄の金百圓を騙取家出し金を使ひ果たし兄への申譯のため且つ生來活動寫眞探偵小說の愛好者であるところから探偵一流と稱したものであるが實は全然虚構したものではない

# 岩倉公の令妹靖子 澁谷署に檢擧さる

【大阪二十日發電通】三月四日來大阪府警察部では取調べ中の岩倉公爵家令妹靖子(三四)の夫澁谷勉(三五)の情婦で大阪市東區上汐町三丁目出入の藝妓菊子(二三)を賭博犯名目で檢擧し取調べた所靖子は勉と菊子との關係を知つてゐながら勉の情婦に對する嫉妬から菊子を呼び出し「勉と別れてくれ」と迫つたが菊子は「勉さんは私の旦那だから別れる事は出來ない」と拒絶したので靖子は「それなら勉さんを殺して私も死ぬ」と言ひ出刃庖丁を持ち出し菊子を刺さうとしたので菊子は驚いて逃げ出したが靖子は追ひかけて菊子を刺し傷を負はせたので菊子は大阪府警察部に訴へ出たので靖子は傷害罪で檢擧されたが靖子は岩倉公爵家の令妹であるので取調べに當つた澁谷署では非常に困つてゐる

# 島徳等の賣國事件 檢事局の手に移る

## 利敵罪に該當するので

【中華電話】中華街某米穀店主島徳某氏は來る五月三十一日任期滿了となるので氏は大總領事より中華街長並に第二十七區、氏は組始め同區住民の爲に盡力ありその人格を以て同區會員に推薦の上二十一日發起の上二十二日

# 臺日主催で 慰安麻雀大會

## 廣東の日本人倶樂部で 在留婦人を慰めるため

【廣東本社特派員發】時局發生このかた、廣東の在留邦人は暗澹の日を送りつゝあるが殊に廣東を流るる珠江の一小沙上に點在する各國の領事館を除けば殆んど一歩も沙面以外の支那街等へ出づることも出來ず甚だ氣の滯る狀態にあるので當日本社の主催にて有志の婦人連を慰安すべく來る二十三日午後二時から沙面日本人倶樂部に於て麻雀大會を開催することとなつた、當日は領事館、正金支店、三菱銀支店、三井洋行、日本郵船、大阪商船、華南銀行、博愛會醫院其他より出場者多數ある見込にて廣東の本場たる支那の內でも最も盛んな廣東のことでもあり一般に興味を持たれてゐる、尙本社よりは優勝者一、二、三等に金銀製牌を夫々贈呈することになつてゐる

# 銅線泥棒を 南署で逮捕

昨年來より本年にかけ六十二回に亙り四百斤餘(約三百五十圓の銅線を盜り會社が作業中の隙をかすめ盜む者があるので南署で嚴重調査の結果、本月十日午後十時頃本島人蔡阿生(二四)及び本島人船員一(二)の二名を檢擧し目下取調べ中である

# 宋中堰街長の 留任運動

【中華電話】中華街某米穀店主島徳某氏は來る五月三十一日任期滿了となるので氏は大總領事より中華街長並に第二十七區、氏は組始め同區住民の爲に盡力ありその人格を以て同區會員に推薦の上二十一日發起の上二十二日

# 福建省政府から 相次いで排外的訓令

## 福州に救國會が續々

福州特電員　林靜山生

福州は十九日省主席以下全省政府の首腦部及び陸海空軍總司令部參謀團等の聯席會議を開き對外問題に關する重大決議を爲したが其の內容は左の如し

一、外國飛行機の來閩に付いては從來何等制限なかつたが今回は一ケ月以前に豫め省政府に向つて回出でなければ入境を許さぬこと

二、外國船舶は許可港以外へは入港し得ざるを原則とし已むを得ず入港する場合は必ず領事團の承認を經ること

三、國籍(軍艦は中國艦隊の警察防衛の範圍であるから絕對に外國人に傷害を與へることを許さず若し犯せば嚴重なる處罰を與へること

四、日本關係一中央政府の意向と雖も各地方政長官への命令に依る

と近來日本軍部に於て各省の領海內の漁業及兵工廠等を侵害する等の事件を實行する外、福州領事の日本人を中國服に變裝させ旅行の名義を以て各地に向つて活動して居る樣なれば大いに注意すること

福州では最近來當國救國會なる排日後援の組織團體が出來、同會は「自衛救國會」と云ふ永久的のものを除く外最近に於てはまた次の樣な會が出來た

一、全市學生國防準備隊　第一の事業の致養進に學生時局の認識を深め全市學生を組織させる人材を養成する爲め全市各中學以上の男學生千人百名を四大隊に編成し公安局衛生科長方醫師を總隊長となり、公安局及保安隊將校の指導の下に每週三時間づつ四ケ月間訓練の施設である

二、全市學生抗日救合會　福州領事館警察署より五名が抗日組織服役の爲め去る十一日北上したのを機に同校及他校學生も續々北上參加せんとの計畫であつたが、當當部では夫れ以後又は其後有當局の希望を北上遠慮を給付しないこと に決定した、故に各校學生は個別に各校學生會組織して右の會金調達及び商人の自發的組織だと稱する「自衛救國會」と云ふ永久的のものを除く外最近に於てはまた次の樣な會が出來た

一、全市學生國防準備隊　第一の事業の致養進に學生時局の認識を深め全市學生を組織させる人材を養成する爲め全市各中學以上の男學生千人百名を四大隊に編成し公安局衛生科長方醫師を總隊長となり、公安局及保安隊將校の指導の下に每週三時間づつ四ケ月間訓練の施設である

二、全市學生抗日救合會　福州領事館警察署より五名が抗日組織服役の爲め去る十一日北上したのを機に同校及他校學生も續々北上參加せんとの計畫であつたが、當當部では夫れ以後又は其後有當局の希望を北上遠慮を給付しないこと に決定した、故に各校學生は個別に各校學生會組織して右の會

三、省當部宣傳大隊　省當部では學生の北上抗日の熱誠に鑑み國傳大隊を組織して北上希望の學生を收容して前線服務の心得を訓練すべく目下國東、閩西兩省當部に同意を求めて居る

四、學生軍訓練　省當部では自動的國防として次の設施及び連絡方法を決議した

一、決　議

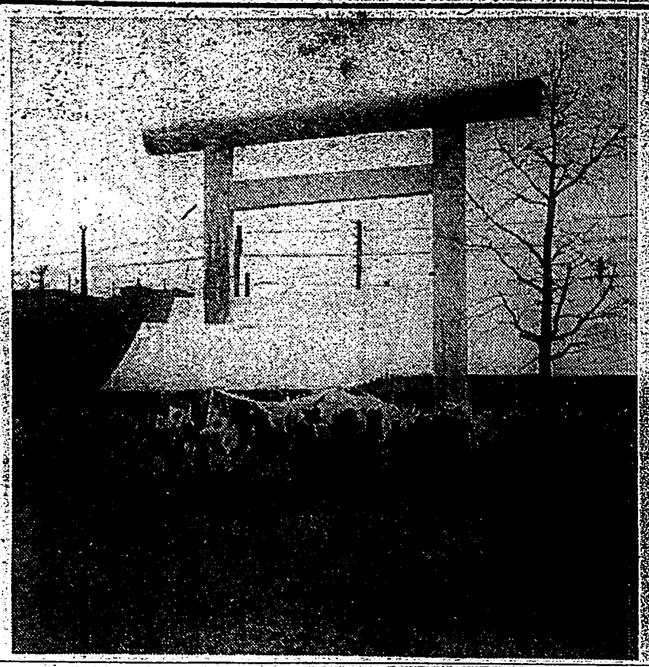
一、僞長官日本に屈從運動者陳行を日間拘留し右長官は漢奸裁判法には二ケ國籍の上訴權の設置を立てること

二、王福廳等從日本に屈從した日本側に對しては疑似の點を以てアメリカ領事に調査を求めてから處罰す

三、林主席(九人)の脫出及各の處

# 日本一の石の鳥居竣成

片貧生徒一萬より成る大鳥居が靖國神社境內に挽成したので十三日午前十一時より盛んなる竣成式が擧げられた(寫眞は小學生の旗行列)



# 錦水の第廿號井 ガスを猛噴

昨夜七時半突然に

五千萬立方呎の噴出量を示してゐるが水分三千萬立方を含んでゐるが水は酸素減水しつゝあり、昨今ガス不足にて製鹽會社配給用のガスの一部を組織の上北上地に供給する爲め目下掘鑿中であつたが、昨夜七時半突然ガスの噴出を見一億立方呎の噴出量を示してゐるが水は酸素減水しつゝあり、昨今ガス不足にて製鹽會社配給用のガスの一部を組織の上北上地に供給する爲め目下掘鑿中であつたが、

# 北平軍事會議 激烈な論爭

【北平十九日發電通】何應欽は十九日午前十時半分自に臨時、宋哲元其他中央軍及地方軍將領を集めて軍事會議を開き塘沽協定後の對北支に於ける軍事的諸問題につき協議したが中央側に於ては何應欽、黃郛、熊斌、徐永昌、商震、宋哲元、秦德純、張自忠、劉峙、劉汝明、萬福麟、于學忠、韓復榘、孫殿英、石友三、龐炳勳、鹿鍾麟、門致中

# 續殘月譜

（169）

志乃田廻司作
清水三重三畫

旅のもつれ（三）

三子ケ浦、やけになって急き立てた。

「川の水なんか、何處だって同じさ、へん、御殿の池か同じやうにおてるさまが、そっぽを向いてやあるめいし」

「存ん気な奴だな」

三子ケ浦の云ひ草に、仮山は云ふ事も荒荒しくなった。

「われ等は、こんな感長な心に、いつ成れるやら」

「悪戯った日ちゃ」

小刀が刺を出して云った。

「さあ、御前の御勘」

「うむ、勘三！」

首斬れて居る勘三に、熱臨大は際をかけた。

「えらく、しほれて居るのう、昔を思ひ出したか？おてるさまに御いて行く、三子ケ浦が哀ましいか」

「いいえ」

勘三、きっと御をあげて。

「私には、政伐が御座ります」

主は山梨である、友禁は「日那」と言ふ言葉が恐ろしかった、彼女は「御前」と言ふ言葉が恐ろしかった、その頃加納家は財界の不況に襲されて景運が傾いてゐた、家の没落を目の前に見ていやうとして焦慮に駆られる彼の父加納藏之助の父末蔵は苦しみをさけやうとして焦慮に駆られる彼の父末蔵は山梨の知己の御に提供されやうとする友禁の可憐さに危機の加納家の盛運を救ふべく友禁は寄生を遂げた、そして末蔵は山梨の手から彼女を救ひ出して山梨の手から彼女を救った友禁は寄生を遂げた、そして末蔵に依って懲罰させられる日が自つて来た、藏之助との縁、末蔵への恩義それを思ふと友禁は二つの道の何れを選ぶべきかに苦しんだ、煩悩の啼は藏之助の生れる前にも入った、現在自分の父を裏切るとして見ならねばならない藏之助の心は幸かった、然し末蔵は友禁に同情したのみで自由にする事はなかった、友禁は末蔵に隠れて藏之助と逢ひ度くした、藏之助は末蔵の留守に度々訪ねて来た、そして末蔵は旨日に旅行を計画すべく、彼等の酒宴を渡密に行はれた、それから間もなく加納家は没落した、山梨は再び友禁に関まとひ初めた、京都を離れたある温泉町――加納一家はそこで侘しい生活に陥ってゐた、久年に投げつけられた魔掌鋭の傷が原で末蔵は旨日になり按摩にまで成下ってゐた、加納一家の苦しい生活を救けるのは健気なお芳であった、ある日彼内な偶然はその温泉地に山梨と友禁を運んだ、そこで昔日の主人一家の零落を知った友禁は我身を金に代へて加納家を救ふべく決心した、けれどもその金は久年のために費はれすべて絶望した友禁はお芳と共に死の道を辿ったのである、藏之助等が駆せつけた時には友禁とお芳は氷清の発育組に抱み合ひ半生を終めてしまってゐた

（第二種郵便物認可）

## 新興キネマ森靜子主演
## 新◇祇◇園◇小◇唄

廿一日より上映芳の館

原作……長田幹彦
脚色……山内英三
監督……倉良穂三
撮影……三木稔
キャスト
加納本造……松本泰輔
同妻之助……吉原幸光
久平……荒木忍
同娘お芳……森静子
北條たま子……花房照子
小松……峰子
岡田……代
友禁は藏之助に欺く協力子であった
藏之助に小さい恋心を抱いた
末蔵に欺かれた小さい恋心を抱いた
藏之助に欺かれた桃色の夢、相手は加納の長男藏之助、ふとした偶然が二人を結び
んで人生を忍んだはかない運命に流転する恋心をいだいた東の町花街の女が、「度は必ず踏むこの道を友禁もやっぱり歩らなければならなくなった、友禁を悲劇させる

## 映畫物語
## 自由を我等に(0)

二十日より日本シネマ・リーグ主催、名畫鑑賞會（新世界館）に上映




臺日藥品
日本橋通二丁目
日吉堂藥局
電話東一七二五番
振替口座大阪一〇七〇番

書籍雜誌
金一五十銭　三五十銭　四五十銭　五一四銭
大阪市北區梅田町二丁目
大阪毎日新聞社
電話北一七九五番
振替口座大阪一九九番

樂器
河合オルガン
優秀なる本邦第一の樂器
大阪市南區心斎橋筋二丁目
河合樂器店
電話本局一七五番

洋服
洋裁と和裁はミドリヤ
大阪市東區北濱一丁目
ミドリヤ
電話本局一九九番

藥種商
ジミヌキベンチン
石油製品五銭木部汚染驚異的
ためにジミヌキベンチン
人體と絹布を害せず
養命酒
記載事項を遵守
大阪市東區道修町
養命酒製造株式會社
電話本局一七五番

エナモル
自動車用
GS
大阪市北區梅田
日本ガソリン株式會社
電話本局一六一番

電器機具
日東木瓜
大阪市南區
日東木瓜本舗
電話一六五〇番

内地土産
玄米精乳と牛乳は
渋谷絶大の長命
華夢
桃星
不感症
瑞喜クリーム
男子専用珍具
婦人専用珍具
男子若返珍具
男女若返妙薬
エホナイト製
包莖安全治療器
男子早漏防止器
工ホナイト
大阪市南區
日東木瓜本舗
電話一六五〇番

雜件
テント
北條山本テント商會
大阪市北區
北條山本テント商會
電話一六六一番

臺北市街圖
定價金五十錢
發行所臺灣日日新報社

ビンカルマ
百万人の愛用者
百万人の名声
百万人の笑顔
百万人の信用
百万人の幸福
百万人の健康
百万人の美貌
百万人の長寿
百万人の財産
百万人の成功
百万人の出世
百万人の名誉

# 漢文臺灣日日新報

## 美金輸出絕對禁止
## 東京雜株暴落

十九日東京電。前場好氣配。非格別好材料。後場早已停頓。勢由軟弱。後聞美國金輸出絕對禁止之報。引際俄然大動搖。新東短期。忽大混亂裡演落。人氣恐怖。二齊投退。即納結株。因埃及政府於十九日。政府所有埃及棉十二萬俵。開始競賣。且繼製品其他欲賦課高率關稅。綿絲落二圓六十錢。鐘紡落一圓二十錢。新輕落二圓三十錢。日清紡落一圓二十錢。其他稍廉。砂糸株因原糸不起。沖繩銀。明銀等各落八。九十錢。其他小甩。雜株日產落二圓四十錢新。日石落一圓。麥酒。淺野落六。八十錢。其他一齊低落。東株落二圓九十錢。東新落五圓七十錢。短期新東。受前場引際好勢。亦付百八十四圓二十錢引際間美國金輸出絕對禁止。如斷行之。則影響我國必大。人氣不安。恐怖的買派投物殺到。新東狼狽投出。追擊賣殺到。八十圓關門已破。大引百七十六圓十錢。鐘紡亦因高慣。寄付二百二十四圓。慘落五十三圓強。日産八十圓九十錢。落五圓四十錢。大新百九圓五十錢恐化。長期雜株。因大引早終關係。比較的平穩。眼前料必投退。引後人氣惡化。

## 藏相雖辭職不解組
## 齋藤首相明告某大官

二十日東京電。高橋藏相進退問題所關。齋藤首相。自去七日與之會談以來。秘密隱忍。此可知藏相至五、一五案結。不辭任確實。其間不妨生問題。得遊政局拡充。則恕之待五、一五事件成一段落。但首相之辭職相。今日似無確信。或留不得。然不因之騷枕閣職。決意銓衡後任。據當時局。去十九日。即支援首相者。

## 俄貨輸入禁止法
## 英樞密院會議決定
## 皇帝署名施行

十九日倫敦電。樞密院會議。御臨席。諭旨帝陛下親臨。十九日午前十時。於宮殿。樞密院會議

# 命を守る

突然の災害に
備える
保険会社

我国最大最新
の保険会社



# 毒薬品新発売

二十九年間の経験と研究の結果



# 婦人公論

婦人公論社


# 三原山事件

## 富田昌子

世間の冷嘲に恐れ戦く少女が、小さい胸を抱き乍ら、謎の真相を發いて絵巻の如く美しい物語を書き初めた。力弱き者の力一杯に擧げた叫聲に哀れに哭く眞情はにじむ。怪奇な謎を解けた。蕾の唇は何を語れる如何なる巨匠が描いた小説より怪奇を極める大告白！

## 結婚生活の破綻について

柳澤健

## 國際聯盟の脱退と國民の覺悟

内田康哉

## 西日本に輝く臺所改善村

招魂社に祀られ唯一の女性

## 夫婦の危機の相談會

新人公論社

## 夫婦の危機の回答

（精神的危機の回答◇里見弴）（生理的危機の回答◇小汀利得）

## 『不義の子と堕胎』座談會

## 新時代の結婚魔を夫に持つ妻の手記

## 彼女は生きる

## 赤ちゃんはどうして生れるの？

## 思春期の子供を導く親の座談會

## 日本を浮ばれる更生させる本。

## 忘れられた病者への太陽

## 父と私

## 不良青年派出家政婦の手記

## 喪服を脱ぎながら

## 喪服の思出

## 吉野文子

## 德田菊枝

## 野木榮太

## 新田とみ

## 吉野先生（僕のページ）

## 島中雄作

## 大谷八重子

## 水ノ江滝子

## 村松見朗

## 鈴江特許法律事務所

## 宮島龍興

## 田和

## 杉山

## 摩擦病にマメタン

## 殺菌—消毒—收斂

## 主効

## 田虫・いんきん・水虫・はたけ

## 定價金五十錢

（十五日發賣）

## 中央公論社發行


# 婦人公論

婦人公論談話室 ◇婦人と子供 ◇家庭と娯樂 ◇婦人と職業 ◇婦人と法律 ◇婦人と病氣 ◇婦人と美容 ◇婦人と家事 ◇婦人と育兒 ◇婦人と教育 ◇婦人と趣味 ◇婦人と文藝 ◇婦人と宗教 ◇婦人と社會 ◇婦人と政治 ◇婦人と經濟 ◇婦人と衛生 ◇婦人と娯樂 ◇婦人と家庭 ◇婦人と子供 ◇婦人と職業 ◇婦人と法律 ◇婦人と病氣 ◇婦人と美容 ◇婦人と家事 ◇婦人と育兒 ◇婦人と教育 ◇婦人と趣味 ◇婦人と文藝 ◇婦人と宗教 ◇婦人と社會 ◇婦人と政治 ◇婦人と經濟 ◇婦人と衛生

## 対華北と南洋への進出
### 若年は自ら運命を開拓せよ

## 局面打開のために日本の意向を質す
### 堀内、伊藤の両書記官と会見して
### 汪精衛が會見して

【南京二十日發電通】上海より來京した堀内、伊藤両書記官は十九日正午汪精衛と會見した、右は汪精衛よりの非公式申出に依りなされた模様で最近支那有力者は日支關係を今のままに推移せしめば遂に支那を亡ぼすものであると、何とか局面打開したいとの希望を述べ日本の意向を質したものと解されてゐる、尚日本側より南支長江一帯の排日テロ團の暴行につき支那の反省を求め取締を要求したと信ぜらる

## 日印貿易上の抗爭を避けよ
### 印度側に妥協論

【ニューデリー二十日發電通】印度の關稅改訂に關する印英會議は日本に對し現行の關稅率を引上げ日本綿製品の輸入を制限する手段として印度ボイコット運動を展開せんとの噂あり、英國政府は印度政府に對し日本の綿製品輸入及び英國人の投資に對し特別の保護を與へざるやう勸告せんとの噂あり、印度側は英國の勸告に對し日本との關係は印度獨立運動の一部なりとして之を拒絶するものと見られ、從つて日印貿易上の抗爭は避け難きものと觀測されてゐる

## 日印協會の對策協議
インド政廳の日印通商條約破棄の聲明が我國に與へた反響極めて大きく、現國の緯方總裁は態度を明かにすべきものである。

## 金輸禁止政策の内容
【ワシントン十九日發電通】ルーズベルト大統領は十九日正午より大統領官邸に於て左の如き重大聲明を發表した

一、大統領自身の發意に依り又は外國との協定に依りドル取位に對する歸金の目方を改訂す

一、銀貨紙幣（不換銀幣）を發行す

一、金本位制の離脱と見てよい
### 財務長官言明

【ワシントン十九日發電通】ルーズベルト大統領が十九日正午より大統領官邸に於て銀貨複本位制、不換紙幣發行等の建議案に承認を與へた模様である

## 金本位制離脱と見てよい
### 財務長官言明

【ワシントン十九日發電通】ウーディン財務長官は現在のアメリカの通貨政策は金本位制の離脱と見て良いものだと言明した

## 大統領の措置は現狀で最上手段
### モルガン氏が聲明書

【ニューヨーク十九日發電通】アメリカ金融界巨頭モルガン氏はルーズベルト大統領とウーディン財務長官の新通貨政策支持の聲明を發表した左の如きステートメントを發表した

## 兩院有力者が提案
### 大統領に

【ワシントン十九日發電通】アメリカ上下兩院有力者は本日左の要旨の法案を作製しルーズベルト大統領の大統領の措置は現狀にて最上手段なるを認める

## 生絲などには却つて好影響
### 米の金輸禁止に關する財界巨頭の意見

【東京二十日發電通】アメリカの金輸禁止實施に關する財界人の意見左の如し

## 宋子文の使命
### 對日制裁促進と大借款の申込み

【南京二十日發電通】當面する

## 露支不可侵條約莫斯科で交渉開始
### 支那が提出した先決條件

【上海二十日發電通】外交界の噂によると露支不可侵條約は既にモスクワで交渉が開始されてゐるが支那は左の三項を先決條件としてゐる

一、ロシアは滿洲國を承認せず

一、露支兩國境を確立して互ひに侵さざること

## 經濟會議代表と有力者が意見交換
### 二十二日日銀の主催で

【東京二十日發電通】日本銀行では二十二日午餐會に石井、深井兩代表を主賓として財界有力者の參集を求め世界經濟會議本會議に臨むわが國の方針につき懇談の上、實現を期し難き場合の對策等を研究する爲め懇談會を開くことゝなつた

## 陸相が訓示
### 地方長官會議で

【東京二十日發電通】地方長官會議第四日は二十日午前九時より午後四時半迄陸軍省大臣官房に於て左の如き順序にて開會

一、陸相より時局に對する訓示

一、軍民一體の實を擧現すべき要旨

一、兵役義務の徹底と兵役關係官衙の督通

一、國境狀況及び蒙族の教化に關して

## 海相以下に定期敍位
【東京二十日發電通】既に發令されては四月十五日附をもつて定期敍位の御沙汰あつた主なるものは左の如し

## 外相から奏上
【東京二十日發電通】内田外相は日蘭仲裁裁判條約の調印に關し二十日午後二時參内陛下に奏上した

## 條約の内容
【東京二十日發電通】外務省は日蘭條約内容大要を二十一發表した

一、本條約は調停と仲裁裁判とを規定し日蘭間に發生する一切の紛爭にして外交手段をもつて解決し得ざるものは常設調停委員會に附託し調停案を考案せしむること

二、常設調停委員會は五名の委員より構成せられ條約發効後兩國政府商議の上委員を任命すること

三、兩國間の紛爭中法律的紛爭は兩國合意の上仲裁裁判所に附託し其の決裁を求むるものとし、この仲裁裁判には、ハーグ萬國司法裁判所が又は兩國合意もつて各場合に設立する仲裁裁判所之に當り右裁判所は五名の裁判官より成る

四、右の外解決手續中調停更の抑制設置等に關する規定存す

五、本條約は批准書交換に依り效力を發生し五ヶ年間存續す

## 日蘭仲裁裁判條約正式調印を終了

【東京二十日發電通】外務當業電日蘭仲裁裁判條約は十九日正午オランダ公使とオランダ外相ファン・ブロックランド氏との間に正式調印を終了した

## 來る二十七日は各銀行休業

來る二十七日木曜日は國葬當日臨時大祭日として内地各銀行は一般に休業に決定したので當内各地銀行に於ても認證を爲すため當日は當内各銀行支店出張所共に臨時休業のことに決定した

## 督府辭令

四月二十日

## シナチク

◇…平壌長官は百日間の留守中に施政した部内の要望を綴つた部内の施政で昨今寒夜の部なく龍巖女書記長と親しく交歡し若輩と謂ふ引をやつてゐるが「どうですか年齢研究中は…」と、この一月以來研究中であつた記者團が研究會に就いて水を向けると「君政治は現實を見よ明日を語るのは三流よ」とアッサリ受け流す▲「お父さの自治團はどういふ出方ですか」と暴みかけると「やるとかやらぬとか今聞きよまでもないことで掘起に任せよ」と、ビスマークちやないが政治は自分勝だ、自分意思の實施を期じにあるんだれ」▲東京でも臺灣でも大仕掛の國葉四十年記念祝賀會をやつやどうかと云ふ意見が大分あるやうだ、併には其際に研究してゐる人もあるらしく昔日の首腦部も顧問でもないらしいが、何れ既成化するのは既成議の折衝だけに來だ以前はつかぬらしい

◇…圓山の櫻が滿開の上に於て來る二十一日から二十三日迄の三日間は京城の櫻祭りの催しがあるので、京城の櫻祭りは大正十年以來續いて今年は十一回目に當り、今日に於ては内地の櫻祭りと共に日本三大櫻祭りの一つに數へられ、

# 新高郡下卅大蕃一千餘の大移住

場所は花蓮港廳下瑞穗區の奥蕃地

瑞穗のレリオ・カトレヤ（會員某氏栽培の一株）

【瑞穗電話】高雄州警務部理蕃課が新高郡下の蕃人の移住を計畫し、其の候補地として花蓮港廳下瑞穗區奥地を選定し、其の實地調査の爲め、去る十九日より二十日迄の二日間、同課の小川技手、警部補一名、通譯一名、巡査一名、蕃丁十名、人夫十名、計二十四名の一行は、新高郡下の蕃人卅戸、一千餘名の移住地として、瑞穗區奥地の適地を調査する爲め、瑞穗區役所に集まり、同區役所の案内にて、瑞穗區役所より自動車にて、瑞穗區奥地の入口なる瑞穗區富源駐在所迄行き、同駐在所にて一泊し、翌二十日午前七時、同駐在所を出發、富源溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、富源溪と支流三笠山溪との合流點に達し、同所にて一泊し、翌二十一日午前七時、同所を出發、三笠山溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、三笠山溪と支流ラヂオ溪との合流點に達し、同所にて一泊し、翌二十二日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二十三日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二十四日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二十五日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二十六日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二十七日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二十八日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二十九日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌三十日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌三十一日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌三十二日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌三十三日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌三十四日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌三十五日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌三十六日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌三十七日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌三十八日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌三十九日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌四十日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌四十一日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌四十二日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌四十三日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌四十四日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌四十五日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌四十六日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌四十七日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌四十八日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌四十九日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌五十日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌五十一日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌五十二日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌五十三日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌五十四日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌五十五日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌五十六日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌五十七日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌五十八日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌五十九日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌六十日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌六十一日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌六十二日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌六十三日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌六十四日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌六十五日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌六十六日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌六十七日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌六十八日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌六十九日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌七十日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌七十一日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌七十二日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌七十三日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌七十四日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌七十五日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌七十六日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌七十七日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌七十八日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌七十九日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌八十日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌八十一日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌八十二日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌八十三日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌八十四日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌八十五日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌八十六日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌八十七日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌八十八日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌八十九日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌九十日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌九十一日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌九十二日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌九十三日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌九十四日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌九十五日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌九十六日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌九十七日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌九十八日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌九十九日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百一日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百二日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百三日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百四日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百五日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百六日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百七日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百八日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百九日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百十日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百十一日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百十二日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百十三日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百十四日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百十五日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百十六日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百十七日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百十八日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百十九日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百二十日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百二十一日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百二十二日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百二十三日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百二十四日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百二十五日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百二十六日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百二十七日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百二十八日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百二十九日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百三十日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百三十一日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百三十二日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百三十三日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百三十四日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百三十五日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百三十六日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百三十七日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百三十八日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百三十九日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百四十日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百四十一日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百四十二日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百四十三日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百四十四日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百四十五日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百四十六日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百四十七日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百四十八日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百四十九日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百五十日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百五十一日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百五十二日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百五十三日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百五十四日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百五十五日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百五十六日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百五十七日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百五十八日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百五十九日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百六十日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百六十一日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百六十二日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百六十三日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百六十四日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百六十五日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百六十六日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百六十七日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百六十八日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百六十九日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百七十日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百七十一日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百七十二日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百七十三日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百七十四日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百七十五日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百七十六日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百七十七日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百七十八日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百七十九日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百八十日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百八十一日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百八十二日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百八十三日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百八十四日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百八十五日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百八十六日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百八十七日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百八十八日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百八十九日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百九十日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百九十一日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百九十二日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百九十三日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百九十四日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百九十五日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百九十六日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百九十七日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百九十八日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌百九十九日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百一日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百二日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百三日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百四日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百五日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百六日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百七日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百八日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百九日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百十日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百十一日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百十二日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百十三日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百十四日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百十五日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百十六日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百十七日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百十八日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百十九日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百二十日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百二十一日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百二十二日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百二十三日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百二十四日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百二十五日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百二十六日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百二十七日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百二十八日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百二十九日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百三十日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊し、翌二百三十一日午前七時、同所を出發、ラヂオ溪に沿ひ、溯ること約二里半にして、ラヂオ溪上流の蕃人部落に達し、同所にて一泊

# ラヂオ六號

## 今日の番組

(JOAK)東京(AK)　周波(kc)
(JOBK)大阪(BK)　周波七一〇

### 午前の部

【六・三〇】ラヂオ体操(第一)(JOAK)
【七・〇〇】朝の挨拶、ラヂオ・タイムス、今日のお天氣のお知らせ(JOAK)
【八・〇〇】宮城遙拜(JOAK)
【九・二〇】家庭日曜學校(JOAK)
【九・三〇】私の好きな歌(JOAK)

### 午後の部

【〇・〇〇】放送局報時、ニュース(JOAK)
【〇・一〇】音樂(蓄音機)(JOAK)
【〇・三〇】お晝の樂しみ(JOAK)
【一・〇〇】日用品小賣市場報告(JOAK)
【一・一〇】正午の時報、氣象通報(JOAK)
【一・二〇】株式相場(JOAK)
【一・三〇】ラヂオ・アルバム(JOAK)
【二・〇〇】家庭料理獻立(JOAK)
【二・一〇】婦人と子供の衛生(JOAK)
【二・二〇】小學生の時間(JOAK)
【二・四〇】音樂(JOAK)
【三・〇〇】お晝の樂しみ(JOBK)
【三・三〇】講談(JOBK)
【四・〇〇】音樂(JOBK)
【四・三〇】子供の時間(JOBK)
【五・〇〇】音樂(JOBK)
【五・三〇】講談(JOBK)
【六・〇〇】ニュース、天氣豫報(JOBK)
【六・一〇】音樂(JOBK)
【六・三〇】講談(JOBK)
【七・三〇】連續講談(JOBK)
【八・三〇】時報、氣象(JOBK)
【八・三五】講談(JOBK)
【九・〇〇】氣象通報、ニュース(JOBK)
【九・一〇】音樂(JOBK)
【九・三〇】ラヂオ・ドラマ(JOBK)
【一〇・〇〇】放送局報時、ニュース、天氣豫報(JOAK)
【一〇・一〇】音樂(JOAK)
【一〇・三〇】ラヂオ・ドラマ(JOAK)
【一一・〇〇】放送局報時、ニュース、天氣豫報(JOBK)
【一一・一〇】音樂(JOBK)
【一一・三〇】ラヂオ・ドラマ(JOBK)
【一二・〇〇】放送局報時、ニュース、天氣豫報(JOAK)
【一二・一〇】音樂(JOAK)
【一二・三〇】ラヂオ・ドラマ(JOAK)

### 夜間の部

【六・〇〇】子供の時間(JOAK)
【六・三〇】音樂(JOAK)
【七・〇〇】講談(JOAK)
【七・三〇】連續講談(JOAK)
【八・三〇】時報、氣象(JOAK)
【八・三五】講談(JOAK)
【九・〇〇】氣象通報、ニュース(JOAK)
【九・一〇】音樂(JOAK)
【九・三〇】ラヂオ・ドラマ(JOAK)
【一〇・〇〇】放送局報時、ニュース、天氣豫報(JOBK)
【一〇・一〇】音樂(JOBK)
【一〇・三〇】ラヂオ・ドラマ(JOBK)
【一一・〇〇】放送局報時、ニュース、天氣豫報(JOAK)
【一一・一〇】音樂(JOAK)
【一一・三〇】ラヂオ・ドラマ(JOAK)
【一二・〇〇】放送局報時、ニュース、天氣豫報(JOBK)
【一二・一〇】音樂(JOBK)
【一二・三〇】ラヂオ・ドラマ(JOBK)

## お晝の樂しみ

### 淚の義太夫

傾城阿波鳴門　順禮歌の段

三味線　豐澤東重
掛聲　豐竹呂之助

十郎兵衛、お弓夫婦及び幼兒伊吉、阪門屋の親戚共心にとつて思ひから再び名刀を取返し主家が安泰になるといふ筋である

### ポプコラーな名曲吹奏樂

演奏　コロンビア・ドミノ

一、行進曲集「過ぎゆく戰隊」
六時からの子供の時間

二、ワルツ集「美しき靑きドナウ」ヨハン・シュトラウス作曲
三、ポルカ「雷鳴と電光」ヨハン・シュトラウス作曲
四、森の囁き(ワルツ)ワルトトイフェル作曲
五、森の木靈(ワルツ)ワルトトイフェル作曲
六、ポルカ集「ピチカート」ヨハン・シュトラウス作曲
七、森の村祭(ワルツ)ワルトトイフェル作曲

### 茶の湯

茶に就ての話

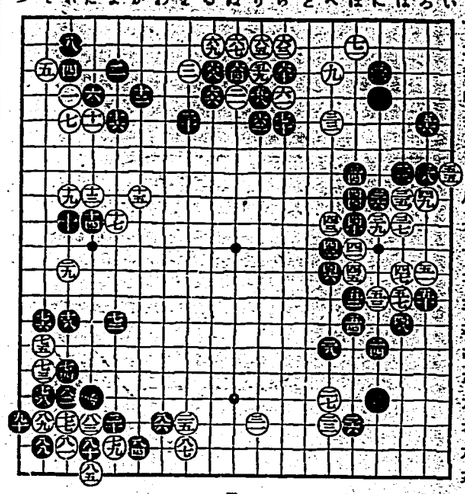
尾崎秀眞

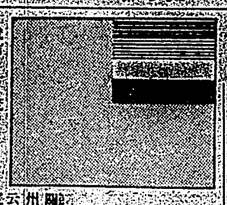
夕五・二五

### 井上六段歡迎棋戰

【第二局の三】

六段　井上孝平氏
初段　峯村政之輔氏





### 明けゆく滿洲(四)

大連にて　草方生

### 關東州は日本輕重のサンプル

關東州と云へば、日露戰役後、日露兩軍の間に戰はれた、日本の運命を賭けた二回の大戰爭の舞臺となつた處であり、日露兩國が我が租借する所となり、その後、大正四年第一次歐洲大戰の際、我が國が獨逸に對して宣戰の詔勅を發するや、時の大隈内閣は、この機會に乘じ、日支間に横たはる懸案を一擧に解決せんとの意圖の下に、支那政府に對して、いはゆる二十一ケ條の要求を提出したのである。

◇

當時私は大連で經營日日新聞社に在社中であつたが、既に滿洲に於ける特別任立ての空氣で夜晝に來し來るとの内報に接し、急遽して來るとの内報に接し、急遽して來るとの内報に接し、急遽して

# 米國の金融市場
## 世界経済会議への影響

全國の繁栄度を物語る

## 國内的勢力か ら？

アメリカの出兵は

## 頭前溪に

## 鮎の人工增殖

## 書北市の都市計畫人の希望

市民の利害も尊重せよ

赤司初太郎氏談

## 會議への期待

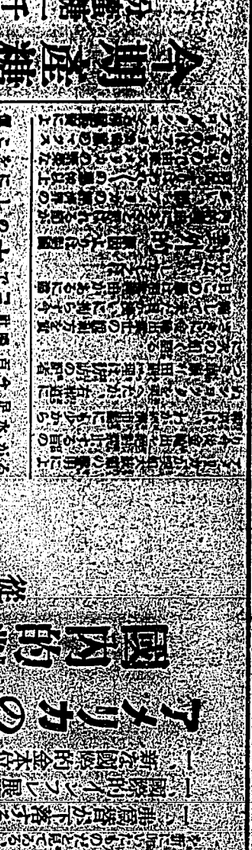
## 大勢は動かず

## 會議は數日後

## 決裂か？

## 金融座談會

## 經濟座談會




## 割安ノ雑株

## 買ヒ目

## 銘柄ノ現狀

## 鑛山工業

## 山一證券

## 日光電化

## 日本化成

## 日本電氣

## 日本曹達

## 日本鋼管

## 日本製鋼所

## 日本鑛業

## 日本石油

## 日本精工

## 日本製紙

## 日本電工

## 日本電氣

## 日本電氣

## 日本電氣

# 男女共學十ケ年の決算

## 明るい男女の交際は

### 異性への好奇心を抹殺するな

### ◇危険視すら必要はない◇

文化學院教授　川崎夏子

十年間見たことによって「解されました

共が社會人である限り個個手足を溝に突しくて他人に依頼をしへるのは、南瓜おじやれではなく存じます。社會に對する觀念であると存じます。「和して私共が朝夕接觸上昇も出來ないと存じます。

和と汚濁はどちらも男女の自然を壞するに充分であると存じます。然らば和樂淸潔何れを選ぶべきかは申すまでもありませんが、實特の良所がありまして、何れも對立して居ります樣で御座いますが、「和して社會の進運にともなひ特に「スピード」を與ふる今日段々複雜になるこゝろから此の位の事は當然の事と存じます。

先づ男女の目的を異にする上に必須な飛躍を附加して、おのおの其の目的に向つて進むやうにしなければならないと存じます。

### 毛髪の手入れ法

毛髪は何時も清潔を保持し常に

### 時代にふさはしい洋髪

精髪を生かすコテの使用法

ミツワ美容倶樂部　久保好子談

### 就職地獄絵巻物

目下東京で開催中の婦人子供博覽會に、ナント五百餘名の婦人が店員を募集したところ、其の應募に先だち四百名餘人が押しかけて試驗官を面喰はせたと言ふ

## 男女共學十ケ年の決算

### 明るい男女の交際は

### 異性への好奇心を抹殺するな

### ◇危険視すら必要はない◇

文化學院教授　川崎夏子

男女の學校が擧つて「明るく交際」してゐるからいゝ風潮を見た時には「とり返しのつかないことになりはしないか知らと心配になる人達がありますが、「なんでもない知らないことは、疑ひの眼で觀ちもつ神經質人ゝ現在の所ではまだ少いやうに思はれます。

今月まで滿十年間男女共學の實驗を續けて來た女子大學の學生諸君に對して、其の自然實を益々發揮させる爲めお互ひの間に於ける觀念の一變ではならうかと存じます。

◇

男女が互ひに理解し合ふ爲めには、男女が幼い時から隔離されて育つた十年間の空白を、成るべく早く取り返すことが必要な條件の一つであると存じます。

◇

男女共學の實驗が始まつた當時は、男女の交際に關する一般の考へ方が餘りに神經質であつたり、又は全然無關心であつたりして、男女の交際は不自然なものであつたり、又は全然無關心であつたりして、男女の交際は不自然なものであつたり、又は全然無關心であつたりして、男女の交際は不自然なものであ

# 太魯閣峽の山月橋
# 十九日の地震で墜落
## 仙臺橋の支柱には龜裂を生じ
## 道路の崩潰八ケ所

【北通信電話】十九日午後三時四十五分の地震のため太魯閣峽方面に大分被害があつた模様で二十日朝までに判明したところに依れば、太魯閣峽の吊橋として有名な山月橋(落しの仙臺橋の支柱は龜裂し道路の崩潰八ケ所に及び交通不便に付き極力復舊に努めつつあるが被害の詳細は判明してゐない

### 太魯閣で最高最長の鐵線橋

山月橋は大クロコの數ある鐵線橋中最高最長の鐵線橋である、長さ百九十米高さ七十五米の隘線橋で、橋上に立つて上流を眺めれば三棧、沓山の兩山と相迫つて屹立し下流は遙かに霞の山峯を望み數百尺の脚下を流れるタロキリの川面をかすめた強風に兩岸の樹木を揺がせ鐵線や橋板をはげしく動搖させる光景に出逢しめ四十分にしてタダンに到着する、ここにタロキリ峽口から丁度一行數である、山月橋が墜落した爲め同橋上の通行者所謂タロ族の進退に窮したであらう、この鐵線が大クロコ族の進出を阻止する唯一の關門であるのみならず理蕃上重要な交通線であるが故に同橋の墜落は交通に杜絶した訳であるから

# 漢文臺灣日日新報

## 美國新金輸禁止政策
### 內容要旨發表

十九日華盛頓電。羅大統領。十九日正午。花大統領宣布。禁止政策。內容要旨如左。一、令組正行對外現送出願。二、從金融交換。為決定必要旁額。認可地貨現送。一、為防止內物價騰貴。亦放社之。一、金本位停止國多數。成新國際貨幣標準。形價若低下至該水準。於輸出額準加理。令國所發不為制限。一、他切通貨切下時。美國本位純分之川意。

## 日蘭仲裁條約簽印

二十日東京電。外務省電。日蘭仲裁條約。十二日午後。外務大臣。與荷蘭公使。與荷蘭外相代表之間。正式簽印。

## 全國司法官會議
### 思想犯對策訓示

二十日東京電。今年度定期司法官會議。二十日午前九時。在司法省開催。小山法相訓示如左。近時國民思想。變化劇烈。其影響遠及司法部。北上。如自收拾時局。已現於少壯司法官。希望時代之指導監督。衛生費之經理。其他就文易外十數件。積々熟議。

## 蔣介石近將北上
### 蘇澳大震地屋倒其他損害

蘇澳十九日午後二時四十五分頃。忽起大地震。都中朝野名士五十人。發起來二十九聖誕日。集行盛大祝賀會。席次武式。伏倉部長。代表總裁。致祝詞。次為來賓祝詞。英國大使。代理大使。美國代理大使。法國大使。意國大使。德國大使。波蘭公使。荷蘭公使。次為來賓祝詞。外務大臣。內務大臣。大藏大臣。陸軍大臣。海軍大臣。文部大臣。農林大臣。商工大臣。鐵道大臣。遞信大臣。拓務大臣。司法大臣。次為來賓祝詞。貴族院議長。衆議院議長。樞密院議長。次為來賓祝詞。內閣總理大臣。次為來賓祝詞。內閣總理大臣。次為來賓祝詞。內閣總理大臣